



株主の皆様へ

第61期 報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR/コンプライアンスを経営の中核においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第61期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に円安・株高基調が続き、内需は堅調に推移しました。この経営環境を背景に企業収益は改善するとともに、消費税増税前の駆け込み需要もあり個人消費も上向き景気は緩やかに回復したものの、円安進行による原材料価格の上昇や消費税率引き上げに伴う消費低迷への懸念など、景気の先行きに対する不透明感は依然として拭い去れない状況のもとで推移いたしました。

当業界におきましては、景気回復基調に伴う消費マインドの改善や各種の住宅取得促進、消費税増税に備えた駆け込み需要を背景に新設住宅着工戸数は堅調な状況が続きました。しかしながら、円安に伴う資材価格の高騰や輸送コストの上昇、職人不足の問題が顕在化するなど必ずしも業界全体が活況を呈する状況には至りませんでした。

このような状況のなか、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、木材関連事業では、取納材を中心とする新製品の生産販売に力を注ぎ、重点拡販製品の拡販、リフォーム市場、非住宅市場への積極的な販売活動を推進いたしました。コスト面におきましては海外生産体制の強化による安定した供給体制の確立、国内では内製化も含む生産体制の整備、製造ラインの改造ほか、徹底した効率化を図りました。

電線関連事業では、大規模太陽光発電・家庭用太陽光発電の旺盛な需要により、配電盤業界及び電材業界の売上増に大きく貢献いたしました。しかしながら、慢性的な人材不足による人件費の高騰、資材価格の上昇等により、利益確保が困難な厳しい経営環境での営業展開となりました。以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高14,542百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益1,211百万円(前年同期比92.8%増)、受取賃貸料、為替差益等で、経常利益1,388百万円(前年同期比63.4%増)、減損損失等で、当期純利益787百万円(前年同期比100.4%増)となりました。

当社グループといたしましては、経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、グループの目標達成に向けて全社員一丸となって取り組んでまいります所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

+++ INNOVATION NEWS

PT.NANKAI
INDONESIA

収納材の原材料供給体制を拡充。 ルマジャン工場第2製造棟を増設中です。

2012年10月から本格稼働を始めたPT.NANKAI INDONESIAのルマジャン工場。既に安定した生産体制を確立し、2013年4月よりファルカタを基材とした収納材の原材料となるベアコア（ファルカタ集成材）の生産能力増と原材料供給体制拡充を目的に第2製造棟の増設を開始しました。

2014年9月からの本格稼働に向け順調にプロジェクトを進行しています。

これにより生産能力は、現状の月間400立方メートルから800立方メートルとなり、好調な製品受注にも対応可能な生産能力が整うことになります。

更に今後は、東南アジア圏でのビジネスも視野に入れ製造棟の更なる増設も計画中で、グレシック工場と合わせ月間2,000立方メートルの生産環境を構築し、すべてのベアコアを自社生産する予定です。



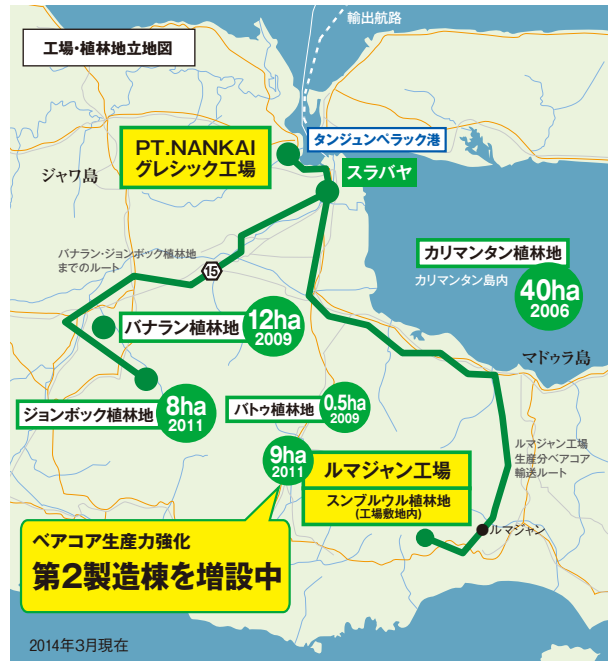
ルマジャン工場



各種製品の原材料となるベアコア



設備設置を待つ第2製造棟（3月時点）



NEW

2013年11月リリース

空間を棚で間仕切る新発想。
発売以来、市場で高い評価を得ています。



ダイニングとリビングを優しく間仕切るフィクサス

間仕切り棚 フィクサス

FIXUS

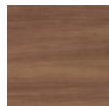
空間を優しく間仕切るフィクサス。
開放感を損なわずに収納量をアップできます。



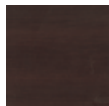
ホワイト
オープンコール



ベージュオーク



ブラウン
ウォールナット



ブラック
ウォールナット



和室空間にもフィット



壁付けのブックシェルフタイプ

NEW
2014年2月リリース

発売開始前から市場で話題沸騰。
強く美しい、新発想芯材のインテリアボード。



インテリアロングボード リビラス

livus.

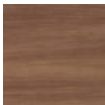
ハニカム構造の特殊強化芯材が生む
ゆとりの高耐荷重性能と美しいシェルフライン。



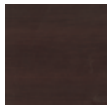
ホワイト
オープンコート



ベージュオーク



ブラウン
ウォールナット



ブラック
ウォールナット

長尺4,000mm
耐荷重値

200kg

※等分布荷重 リビラス90の場合

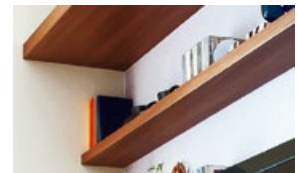
耐荷重の目安値

下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

製品	耐荷重値(等分布)
リビラス90	200kg(100kg/m ²)
リビラス60	160kg(100kg/m ²)
リビラス40	70kg(100kg/m ²)



高耐荷重性能でゆとりの収納量
特殊強化芯材を採用しているため、美術
年鑑等の重たい収納物も余裕の耐荷重
性能。ゆとりの収納量を生まみます。



棚や金具が見えない美しい仕上がり
カウンター内部に受枠を納める形状なので、
外部に受枠や取付金具類が見えず、シン
プルで美しい仕上がりです。壁面への埋込
みも不要で施工の負荷も軽減します。

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
■資産の部		
流動資産	9,861	10,927
現金及び預金	1,564	1,407
受取手形及び売掛金	4,961	5,318
商品及び製品	655	707
仕掛品	928	868
原材料及び貯蔵品	1,425	2,164
繰延税金資産	126	191
デリバティブ債権	41	—
その他	159	271
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	8,581	8,828
有形固定資産	5,653	6,005
建物及び構築物	1,174	1,201
機械装置及び運搬具	480	699
工具器具備品	58	56
土地	3,890	3,941
建設仮勘定	33	84
その他	14	22
無形固定資産	501	441
投資その他の資産	2,426	2,381
投資有価証券	707	685
長期貸付金	202	97
繰延税金資産	6	32
投資不動産	1,116	1,150
その他	425	433
貸倒引当金	△31	△18
資産合計	18,442	19,756

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
■負債の部		
流動負債	2,307	2,690
支払手形及び買掛金	1,088	903
短期借入金	—	300
未払金	410	470
未払費用	101	102
未払法人税等	320	407
未払消費税等	132	58
賞与引当金	216	298
その他	37	149
固定負債	140	193
繰延税金負債	2	1
退職給付引当金	104	—
役員退職慰労引当金	10	9
役員退職給付に係る負債	—	158
その他	23	24
負債合計	2,448	2,883
■純資産の部		
株主資本	16,225	16,934
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,370	13,080
自己株式	△130	△132
その他の包括利益累計額	△231	△62
その他有価証券評価差額金	29	14
繰延ヘッジ損益	25	5
為替換算調整勘定	△287	△76
その他	—	△5
純資産合計	15,994	16,872
負債純資産合計	18,442	19,756

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	当連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	13,451	14,542
売上原価	9,132	9,324
売上総利益	4,318	5,218
販売費及び一般管理費	3,690	4,006
営業利益	628	1,211
営業外収益	288	288
営業外費用	67	112
経常利益	849	1,388
特別利益	37	3
特別損失	195	97
税金等調整前当期純利益	692	1,294
法人税等	295	506
少数株主損益調整前当期純利益	396	787
少数株主利益	3	—
当期純利益	393	787

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

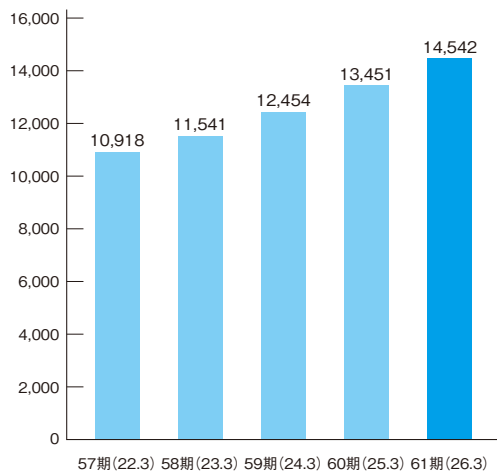
	前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	当連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	946	259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△631	△694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	220
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	56
現金及び現金同等物の増減額	287	△157
現金及び現金同等物の期首残高	1,276	1,564
現金及び現金同等物の期末残高	1,564	1,407

■ 損益ポイント

収納材を中心とする主力製品の売上が好調に推移し、前連結会計年度と比較して、売上高は8.1%増、経常利益は63.4%増となりました。

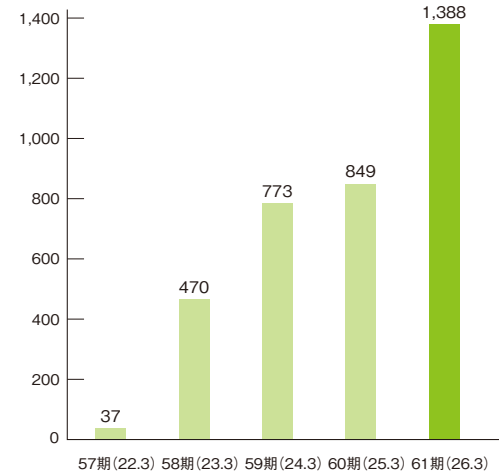
▽ 売上高の推移

(単位:百万円)



▽ 経常利益の推移

(単位:百万円)



当期の概況

木材関連事業では、収納材を中心とする生産販売に取組み、今期新たに間仕切り棚「フィクサス」、高級木目柄棚板「グレインランパー」、インテリアロングボード「リビアス」を発売いたしました。いずれの製品も発売直後からエンドユーザーを中心に大きな反響があり、順調に業績を伸ばし売上大きく貢献いたしました。この結果、当セグメントの業績は、売上高12,315百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益1,156百万円（前年同期比107.2%増）となりました。

電線関連事業では、得意先である大手サブコンが官庁物件では高校、大学等の学校関係や役所庁舎、民間物件ではメガソーラー関係や病院等を受注、資材の受注実績をあげることができましたが、受注競争激化に伴う採算性の低下などにより、受注利益率は低いものとなりました。この結果、当セグメントの業績は売上高2,227百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益55百万円（前年同期比21.6%減）となりました。

次期の見通し

（木材関連事業）

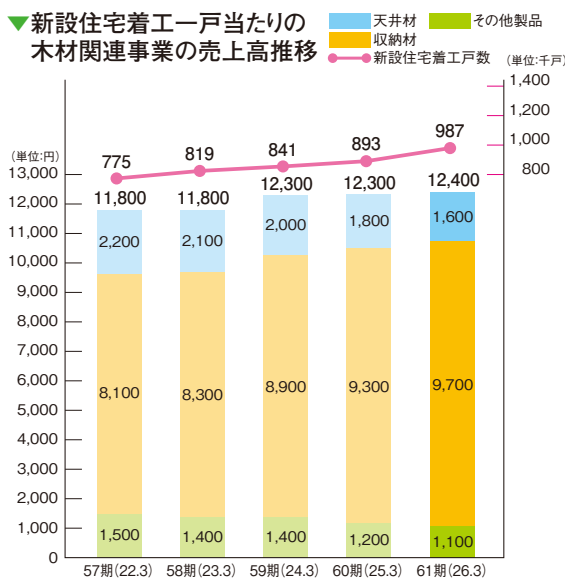
住宅業界におきましては、低金利を背景に住宅ローン減税延長拡充等の一定の対策は実施されるものの、消費税率引き上げに伴う反動減や消費者マインドの腰折れも懸念され、住宅需要の動向は先行き不透明な状況が続くと予測されます。引続き収納材を中心とする新製品の生産販売に力を注ぐとともに、更なるリフォーム市場・非住宅市場の販路拡大への取り組みとともに生産体制の充実を図り、収益の確保に努めてまいります。

（電線関連事業）

民間設備投資は回復基調にあるものの、引続き資材価格の上昇や人手不足に伴う労務費の高騰などを背景に、建設コストの上昇が次第に顕在化、受注競争激化は依然続くと思われませんが、省エネ関連の設備投資は顕著になる傾向であり受注増が見込まれます。創エネ・省エネ・畜エネ商材の啓蒙を行い、スマートエネルギー化社会に向けての商材開発と販路先の開拓に取り組んで行く所存であります。

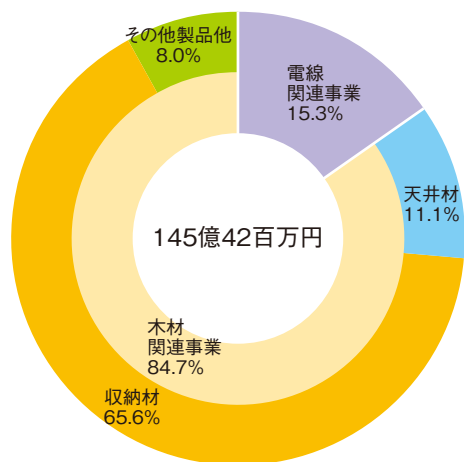
次期は、連結売上高14,200百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益630百万円（前年同期比48.0%減）、経常利益630百万円（前年同期比54.6%減）、当期純利益400百万円（前年同期比49.2%減）になるものと予想しております。

▼新設住宅着工一戸当たりの 木材関連事業の売上高推移



注)売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成



株式の状況

(平成26年3月31日現在)

総数

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式の総数 10,095,800株

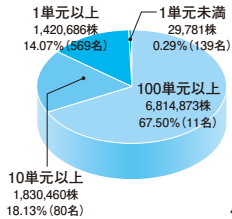
株主数 799名(前期末比98名増)

大株主

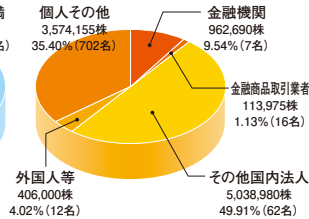
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,753千株	28.43%
公益財団法人南海育英会	1,554	16.05
丸山 修	492	5.08
株式会社百十四銀行	467	4.83
小林 茂	302	3.11
株式会社愛媛銀行	243	2.51
SIX SIS LTD.	185	1.91
日本証券金融株式会社	142	1.46
南海プライウッド従業員持株会	131	1.35
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.32

(注)当社は自己株式414,928株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

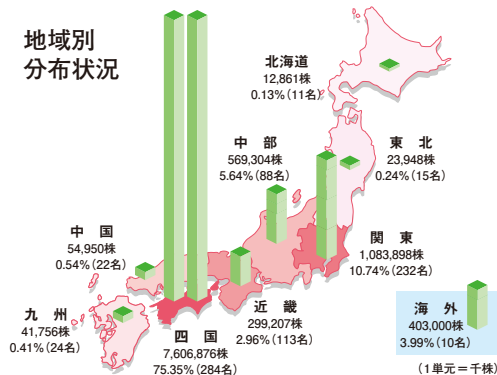
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成26年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 395名(連結1,480名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成26年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	執行役員	小野 彰三
取締役・上席執行役員	藤村 岳志	執行役員	蓮井 孝治
取締役・上席執行役員	正箱 孝史	執行役員	松浦 義博
取締役・上席執行役員	丸山 宏	執行役員	藤本 英二
取締役・上席執行役員	玉置 康洋	執行役員	大川 正仁
常勤監査役	秋山 二郎	執行役員	浮田 貴仁
監査役	大川 俊徳		
監査役	岩部 達雄		
監査役	村田 剛		

連結子会社

(平成26年3月31日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 南海建材商貿(上海)有限公司
 NP ROLPIN SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成26年3月31日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度／4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会／毎年6月に開催いたします。
- 基準日／定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 ※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法／電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所／東京証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)
- 単元株式数／1,000株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 【郵便物送付先／各種お問合せ先】
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話 0120-094-777(通話料無料)
 〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社